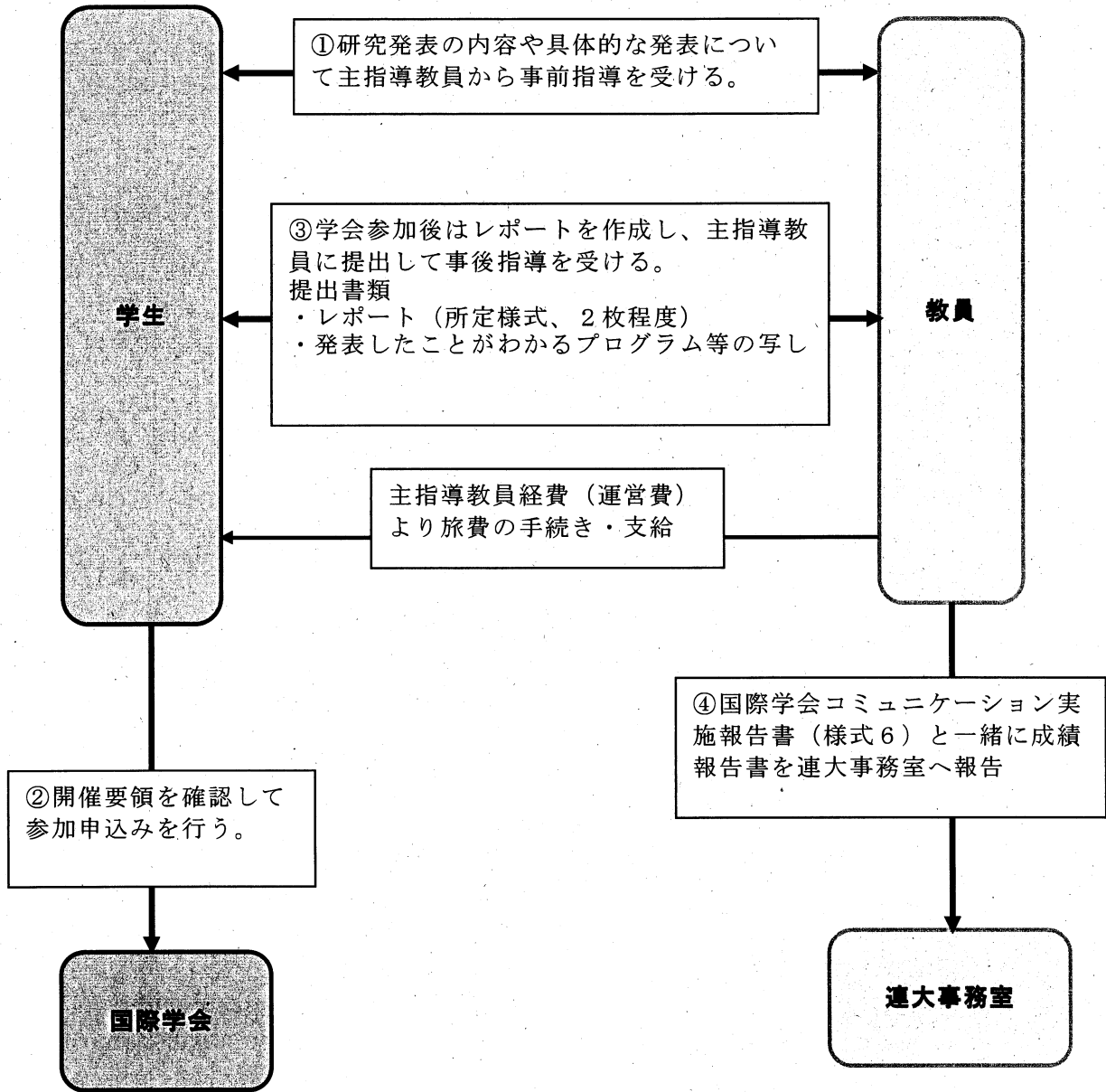


国際学会コミュニケーション

研究科共通科目	1 単位	担当教員 比屋根 哲
<p>講義概要</p> <p>(目標) 国際学会などに参加して、英語による研究発表・討論を行う一連の準備プロセスを修得するとともに、発表方法などの改善について指導を行います。</p> <p>(内容) 事前、事後のプロセスを含めて、国際学会などに参加し英語での研究発表・討論を行うことを授業として位置づけます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事前指導: 研究発表の内容や具体的な発表について計画を立てて、主指導教員に提出し、主指導教員から事前指導を受けます。 2) Abstract の作成: 国際学会の開催要領を把握した上で参加申込を行い、Abstract を作成して送付します。 3) 発表資料の作成: Proceeding などの原稿、口頭発表用の資料またはポスターの成果物を作成します。 4) プレゼンテーションのスキルアップ: 繰り返しの練習等で英語による発表のスキルアップを図ります。 5) レポートの作成: 自己評価を含めたレポートを作成し、主指導教員に提出します。 6) 事後指導: 質疑応答の内容、出席者からのコメント、発表の問題点、将来への展開などについて主指導教員と総括を行い、事後指導を受けます。 		
<p>評価の方法</p> <p>上記の 6 項目について総合的に評価します。</p>		
<p>講義履修上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでいう国際学会とは Conference、Symposium、International meeting、International workshop などとします。 ・参加する国際学会は開催地（国内外）を問いませんが、公式言語として英語が採用されており、英語による発表であることを条件とします。 ・発表形式は口頭発表またはポスター発表とします。 ・レポートは、学会名、開催場所、開催期間、参加者の概要（人数・国名）、参考になった発表（演題名、発表者）の他、自ら学会で発表した内容（質疑応答の内容、出席者からのコメント）、将来への展開、自己評価・感想について記載し、主指導教員に提出してください（様式 5、2 枚程度）。 ・学会へは「岩手大学大学院連合農学研究科の学生」として参加することが必要です。社会人の方は注意してください。 ・学位申請後の旅費の補助及び単位認定は行いません。 <p>* 旅費の支給額・範囲については、70 ページをご覧ください。</p>		

国際学会コミュニケーションの流れ



*注意

- 発表の際は所属名を「岩手大学大学院連合農学研究科」と明記すること
- 海外渡航届けを連大事務室へ提出すること（「渡航届」は連大HPにあります。）
→<http://ugas.agr.iwate-u.ac.jp/jp/download.html>